

『『豊かな公』を支える資金循環システム』に関するアンケートご協力をお願い

このたび弊社では、内閣府政策統括官（経済社会システム担当）より調査の委託を受け、『『豊かな公』を支える資金循環システムに関する調査』を実施しております。

本調査は、NPOをはじめとする民間非営利活動が広まりを見せる中、こうした活動を支える民間部門での資金の流れを円滑、多様なものとするため、必要となる基盤整備を進めることを念頭に、民間非営利活動に対する資金支援の仕組みの実態把握を行なうことを目的としております。

こうした資金支援の仕組みの運営に係っていらっしゃいます皆様におかれましては、本調査の趣旨をご理解頂きまして、本アンケートにご協力いただければ幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

2007年（平成19年）2月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

■ご記入にあたってのお願い

- ・ 本アンケートには、貴団体の行なう民間非営利団体に対する資金支援の実情に詳しい方、または資金支援の仕組みの設計を行なわれた方にご回答いただければ幸いです。
- ・ 調査結果につきましては、調査目的以外に使用することはございません。また、収集した個人情報につきましても、弊社の個人情報保護方針に基づき (<http://www.murc.jp/profile/privacy.html>)、本調査以外の目的で使用することにはございません。

■ご返送期限に関するお願い

このアンケート用紙にご記入いただきましたら、恐縮ですが、

2月22日（木）までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送下さい。

■お問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 環境・エネルギー部 水谷、櫻井、織田

電話：03-3572-9034 E-mail：sakusaku@murc.jp

用語注)

- ・ ここでは、「民間非営利団体」とは、政府や自治体などの行政機関以外の民間の団体を、「民間非営利活動」とは、こうした団体が何らかの社会的目的のために活動することを指します。

I. 民間非営利団体に対する資金支援状況についておうかがいたします

問1 貴団体において、現在、民間非営利活動に対する資金支援に関する仕組み（助成、融資、寄付等）がありますか。どちらかあてはまる番号に○を付けてください。

* 「資金支援に関する仕組み」とは、「貴団体が集めた・もしくは元々有する資源（金銭）を用いて、事業実施もしくは団体運営に際して金銭的な課題を有する民間非営利団体に対し支援を行なうための仕組み」を指します。

（また、資金支援に関する仕組みを用いず、貴団体自身が特定の非営利団体に対して直接行う寄付は対象といたしません。）

1. ある →問2へ

2. ない →最終ページ（F1）へ

問2 上記資金支援に関する仕組みに関して、資金支援の形態としてあてはまる番号すべてに○を付けてください。○を付けた資金支援の形態について、該当する仕組みの名称・直近の年間支援件数をお教えてください。

また、該当する仕組みが複数ある場合、最も代表的な仕組みの名前（1つ）に下線を引いてください。

* 助成の場合は助成件数及び助成事業名を、融資の場合は個別の商品数および商品名を記入してください。

* 支援の形態が、助成及び融資等、複数ある場合は該当箇所全てに記載をお願いします。

1. 助成

・仕組み①：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み②：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み③：（名称： ）（支援件数： 件／年）

2. 融資

・仕組み①：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み②：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み③：（名称： ）（支援件数： 件／年）

3. 寄付

・仕組み①：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み②：（名称： ）（支援件数： 件／年）

4. その他

・仕組み①：（名称： ）（支援件数： 件／年）

・仕組み②：（名称： ）（支援件数： 件／年）

— 問2で複数の仕組みをご記入いただいた方へ —

問3以降は問2で下線を引いた最も代表的な仕組みについてお答えください。

問3 貴団体の仕組みが支援の対象とするのは、次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | | | |
|----------|------------------|--------------|-------|
| 1. 非営利法人 | 2. 一般法人（営利法人も含む） | 3. 任意団体 | 4. 個人 |
| 5. その他（ | ） | 6. 特に限定していない | |

問4 貴団体の仕組みが支援の対象とするのは、次のどれですか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|-------------------------|-------------------|--------------|
| 1. 団体運営費（管理費） | 2. 個別のプロジェクト（事業費） | |
| 3. 団体運営費および個別のプロジェクトの両者 | | |
| 4. その他（ | ） | 5. 特に限定していない |

問5 支援の対象となる事業分野は、次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | | |
|--|-----------------|---------------|
| 1. 保健・医療又は福祉の増進 | 2. 社会教育の推進 | 3. まちづくりの推進 |
| 4. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 | 5. 環境の保全 | 6. 災害救援活動 |
| 7. 地域安全活動 | 8. 人権の擁護又は平和の推進 | 9. 国際協力 |
| 10. 男女共同参画社会の形成の促進 | 11. 子どもの健全育成 | 12. 情報化社会の発展 |
| 13. 科学技術の振興 | 14. 経済活動の活性化 | |
| 15. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 | 16. 消費者の保護 | |
| 17. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助 | | |
| 18. その他（ | ） | 19. 特に限定していない |

問6 仕組みが想定している資金使途は、次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 特に限定していない | 2. 事業の立ち上げの際に必要な資金 |
| 3. 人件費・家賃など組織運営のための資金 | 4. 設備・機器を購入するための資金 |
| 5. 助成金等が交付されるまでの間をつなぐ資金 | |
| 6. その他（ | ） |

問7 年間の支援総額（直近）についておうかがいたします。

問7-1 年間の支援総額（直近）はおおよそどの程度ですか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|--------------------|----------------|------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～500万円 | 3. 500万円～1,000万円 |
| 4. 1,000万円～5,000万円 | 5. 5,000万円～1億円 | 6. 1億円以上 |

よろしければ、具体的な数値をご記入ください。（ ）万円

問7-2 仕組みが複数ある場合は、全仕組みの支援総額の合計値（直近）もお教えください。あてはまる番号1つに○を付けてください。

* 問2で仕組みを複数記入いただいた方へ…本質問には問2で記入した仕組みすべての支援額を合計した金額をご回答ください。

- | | | |
|--------------------|----------------|------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円～500万円 | 3. 500万円～1,000万円 |
| 4. 1,000万円～5,000万円 | 5. 5,000万円～1億円 | 6. 1億円以上 |

問8 1団体あたりの支援金額についておうかがいします。

問8-1 1団体あたり平均どの程度の支援をしていますか。おおよその金額をお答えください。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|----------------|------------------|--------------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10万円～50万円 | 3. 50万円～100万円 |
| 4. 100万円～500万円 | 5. 500万円～1,000万円 | 6. 1,000万円～5,000万円 |
| 7. 5,000万円以上 | | |

問8-2 1団体あたり最大いくらまで支援が可能ですか。おおよその金額をお答えください。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|----------------|------------------|--------------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10万円～50万円 | 3. 50万円～100万円 |
| 4. 100万円～500万円 | 5. 500万円～1,000万円 | 6. 1,000万円～5,000万円 |
| 7. 5,000万円以上 | 8. 特に制限はない | |

問 9 支援対象の審査についておうかがいたします。

問 9-1 審査の際、何を重視しますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 支援先の法人格の有無 |
| 2. 支援先の活動実績 |
| 3. 支援先の業務遂行能力 |
| 4. 支援対象となる民間非営利活動もしくは団体の分野・テーマ |
| 5. 資金支援から期待される成果や社会的意義 |
| 6. 支援先の財務の健全性（資産内容、担保の有無等） |
| 7. その他（) |

問 9-2 支援対象の審査のプロセスについてお教えください。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

- | |
|---|
| 1. あらかじめ決められた審査基準に従い、職員が審査している。 |
| 2. 決められた審査基準に従い職員が審査した後、審査委員会等を設け支援先として妥当か否かの検討を行っている。検討は貴団体内部メンバーのみで構成する。 |
| 3. 決められた審査基準に従い職員が審査した後、審査委員会等を設け支援先として妥当か否かの検討を行っている。検討は外部専門家をメンバーに含め構成する。 |
| 4. その他（) |

問 9-3 審査の体制についてお教えください。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

専門の担当者の有無	1. 専門の担当者がいる	2. 専門の担当者はいない	
審査に関わる延べ人数	1. 1人	2. 2～4人	3. 5～7人
	4. 8～10人	5. 11人以上	

Ⅲ. 資金支援の仕組みに関する課題についておうかがいたします

問 14 資金支援の仕組みに関する課題は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 資金支援の仕組みに必要な資金が十分に集まらない。
2. 適当な資金支援先が見つからない。
3. 資金支援の仕組みを円滑に運営する上で貴団体のリソース（人材等）が不足している。
4. 効果が曖昧で、評価が難しく、ノウハウも不足している。
5. その他（ ）

問 15 問 14 において、「1. 資金が十分に集まらない」に○を付けた方におうかがいたします。資金が集まるようにするために、どのような取組が有効だと思いますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- * 「貴団体」（1～4の選択肢）とは、本アンケートにご記入いただいている団体を指しています。
- * 「支援先の団体」（5～7の選択肢）とは、助成や融資の際に対象となる民間非営利団体を指しています。

1. （貴団体が）、自らの資金支援の仕組みについての認知度を向上させる。
2. （貴団体が）、自ら資金を出すことの意味・価値を広く伝える。
3. （貴団体が）、自らに対する信頼性を確保する。
4. （貴団体が）、自ら資金の使い道や成果を、資金提供者に還元・開示する。
5. （支援先の団体が）、自ら資金を出すことの意味・価値を広く伝える。
6. （支援先の団体が）、自らに対する信頼性を確保する。
7. （支援先の団体が）、自ら資金の使い道や成果を、資金提供者に還元・開示する。
8. 貴団体あるいは支援先の団体の努力だけでは限界がある。

問 15-1 問 15 において、「8.」に○をつけた方にお伺いします。資金が集まるようにするためにどのような取組が有効だと思いますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 資金支援の仕組み自体を持つ団体が協力して、社会的認知度・信頼性の向上に向けた取組を行う。
2. 社会的認知度や信頼性向上に向けた、行政の支援を拡充させる。
3. 制度改革（寄付税制等）を通じ、資金提供者の資金提供に対する経済的インセンティブを高める。

IV. 今後の方針についておうかがいたします

問 17 貴団体は、今後の支援総額についてどのように考えていますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

1. 支援総額を拡大させていきたい
2. 支援総額を減少させていきたい
3. 現状を維持したい

問 18 問 17において、「1. 支援総額を拡大させていきたい」に○を付けた方におうかがいたします。拡大させていきたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 社会的意義を感じているため
2. 需要が拡大し、有望なマーケットと認識しているため
3. その他 ()

問 19 貴団体は、今後の1団体あたりの支援金額について、どのように考えていますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

1. 拡大させていきたい
2. 減少させていきたい
3. 現状を維持したい

問 20 貴団体は、民間非営利団体等への資金支援の仕組みの財源を確保する際の今後の方針について、どのようにお考えですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 広く一般を対象にして募集活動を活発に行い、資金提供者の裾野を広げる。
2. 資金提供者になりうる年代を想定し、支援先に関する情報を効果的に伝えていきたい。
3. 定期的な情報発信などを通して、継続的な資金提供者を大切にしていく。
4. 資金支援の仕組みを有する団体のネットワークを活用し、お互いに協力しあう。
5. その他 ()

V. 最後に、貴団体及びご回答者についてお伺いします

F 1 貴団体の法人格について、お答えください。

- | | | | |
|------------|----------|-------------|--------------|
| 1. 社団法人 | 2. 財団法人 | 3. 社会福祉法人 | 4. 特定非営利活動法人 |
| 5. 中間法人 | 6. 労働組合 | 7. 銀行 | 8. 信用金庫 |
| 9. 信用組合 | 10. 労働金庫 | 11. 生活協同組合 | 12. 独立行政法人 |
| 13. 一般事業法人 | 14. 任意団体 | 15. その他 () | |

F 2 貴団体の資産規模について、お答えください。

(株式会社の場合は資本金額をご記入ください)

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| 1. 1000万円未満 | 2. 1000～5000万円 | 3. 5000万円～1億円 |
| 4. 1～5億円 | 5. 5～10億円 | 6. 10～30億円 |
| 7. 30～100億円 | 8. 100億円以上 | |

F 3 貴団体の設立年次をお教えてください。

西暦 () 年

F 4 貴団体の本部所在地をお教えてください。あてはまる番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|---------------------------------------|------------------------------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 東北 (青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島県) | 3. 東京都 |
| 4. 北関東 (群馬、栃木、茨城県) | 5. 南関東 (埼玉、千葉、神奈川県) | |
| 6. 中部 (新潟、富山、石川、福井、長野、山梨、静岡、岐阜県) | 7. 愛知県 | |
| 8. 大阪府 | 9. 近畿 (滋賀、三重、奈良、和歌山、兵庫県、京都府) | |
| 10. 中国 (岡山、広島、山口、鳥取、島根県) | 11. 四国 (香川、愛媛、徳島、高知県) | |
| 12. 九州・沖縄 (福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄県) | | |

ご回答いただきましたあなたのご連絡先を以下の空欄にご記入ください。

貴団体名	
ご芳名・ご所属	
電話番号・E-mail	

お忙しい中、ご協力ありがとうございました